

# 病床整備計画につきまして

埼玉脳神経外科病院

## 【経緯】

→令和元年09月20日（金）

埼玉保健医療部長より、「病院の整備計画申出書に対する結果について（通知）」にて当院の病床整備計画（一般病床15床 回復期病床4床 計19床）につき医療法に基づき開設（変更）の手続きを進めてよいとの内容を頂きました。

→令和元年10月08日（火）

松浦（埼玉脳神経外科病院 院長）により、鴻巣市医師会にて整備計画（一般病床15床 回復期病床4床 計19床）がとおり、計19床の増床となることを報告いたしました。

→令和元年10月08日（火）～11月12日（火）

- ・ 県央保健医療圏の医療機関、介護施設へ整備計画がとおり、一般病床15床 回復期病床4床 計19床の増床となることを郵送にて連絡させて頂きました。
- ・ 県央保健医療圏の病院5カ所、医院・クリニック 7カ所、介護施設 8カ所へ直接、出向き説明させて頂く。そこでは、当方より整備計画の説明をさせて頂くとともに、各病院、各医院・クリニック、各介護施設より、直接、1対1でなければ聞けなかったであろう忌憚のない大変に貴重な意見を聞くことが出来ました。
- ・ 急性期病院の方からは、「増床して脳神経外科を続けるのは大変でしょう？」「頭の疾患の受け入れは、いままでどおり断らないで欲しい。」
- ・ 回復期病院の方からは、「回復期は年々、空いてきている。増床であれば、これまで以上に患者を紹介して欲しい。」「回復期や地域包括病棟はもう、多すぎるのでは、？」
- ・ 医院・クリニックの方からは、「緊急入院の受け入れを今まで以上にして欲しい。」「退院後の外来通院の指導をもう少しして欲しい。」
- ・ 介護施設の「埼玉脳神経外科病院からの紹介患者がいなければ、入所者がいなくなってしまう。増床するのであれば、是非これまで以上に入所の患者を紹介して欲しい。」

などの意見と頂戴しました。皆、埼玉脳神経外科病院が病床整備（増床）し行おうとしていることを理解して頂き、概ね賛成して頂けている様子でした。

→令和元年11月1日（金）

このす共生病院・埼玉脳神経外科病院と地域医師会の医師による懇親会が行われる。当院の常勤医師3名が出席させて頂き、病床の整備計画などにつき説明させて頂く。

### 【脳卒中急性期】

脳卒中急性期につきましては、脳血管内治療というものが当院の1つの課題でしたが、医師、看護師、その他のコメディカルの人員配置、t-PA治療の研修会、機材の選定も終わり、令和2年1月より、埼玉県急性期治療ネットワーク（SSN）に参加させて頂く予定となっております。

### 【回復期】

（他の回復期病院にて受け入れの難しい患者を受け入れしよう）というスローガンのもとに、10月1日（火）～10月31日（木）の1ヵ月間で、2名の受け入れの難しい患者を受け入れることが出来ました。内容としまして、

- 60代 男性。 在宅復帰が難しく、薬の量が多い との理由で県央保健医療圏は元より、他の回復期リハビリテーション病棟でも受け入れがなかったとのこと。
- 70代 女性。 脳出血再発のリスクが高く、再出血時の対応につき家族と合意できなかった との理由で、県央保健医療圏は元より、他の回復期リハビリテーション病棟でも受け入れがなかったとのこと。

となります。今後も、このような患者の受け皿となれるようにしていきたいと考えております。